

[illegible]

嘉祐初年

喜少ふ年て有る君意を云ふ所
り助も喜少ふ年て有る君意を云ふ所

陳中

一、書の成るるは、人の心から出る。

中

一、力而一五十五百四十六
小中場

水中月

一、
力之工
力之工
力之工

内主客名師名書法

一 考得康寧事暢練今之師大南國陰陽家
亦如之方切也 師升之山房之書之伴
升之書之方切也 師升之山房之書之伴

一 師升之山房之書之伴

一 師升之山房之書之伴

一 師升之山房之書之伴

一 師升之山房之書之伴

一 師升之山房之書之伴

一 師升之山房之書之伴

一 師升之山房之書之伴

一 師升之山房之書之伴

一 師升之山房之書之伴

一 師升之山房之書之伴

此等成語、作事法、皆由心、一法、此
也、身、物、事、一、法、也

一、事、物、之、成、敗、皆、由、心、之、一、法、也

此、法、也

此、法、也、皆、由、心、之、一、法、也

此、法、也

右、此、法、也、皆、由、心、之、一、法、也

一、事、物、之、成、敗、皆、由、心、之、一、法、也

此、法、也

此、法、也、皆、由、心、之、一、法、也

此、法、也

一、事、物、之、成、敗、皆、由、心、之、一、法、也

此、法、也、皆、由、心、之、一、法、也

一、事、物、之、成、敗、皆、由、心、之、一、法、也

此、法、也、皆、由、心、之、一、法、也

一、事、物、之、成、敗、皆、由、心、之、一、法、也

此、法、也、皆、由、心、之、一、法、也

一、事、物、之、成、敗、皆、由、心、之、一、法、也

此、法、也、皆、由、心、之、一、法、也

此、法、也、皆、由、心、之、一、法、也

此、法、也、皆、由、心、之、一、法、也

[illegible]

子孫後世為之記

左道所依之方氣法其法實屬反於自然
指其教以爲玄密指其教以爲早之方爲靈驗
其書之通人作其方以爲玄密

心誠為本

作字如飛

行屏成之海對面仇

上海社會科學院

五

田中力雄

風平浪

送江表書

好望月夜
 丁巳年
 丁巳年

五

川原城三石段
川原城三石段

川原城三石段
川原城三石段

川原城三石段
川原城三石段

川原城三石段
川原城三石段

川原城三石段
川原城三石段

川原城三石段
川原城三石段

川原城三石段
川原城三石段

川原城三石段
川原城三石段

川原城三石段
川原城三石段

川原城三石段
川原城三石段

川原城三石段
川原城三石段

川原城三石段
川原城三石段

川原城三石段
川原城三石段

川原城三石段
川原城三石段

川原城三石段
川原城三石段

川原城三石段
川原城三石段

川原城三石段
川原城三石段

川原城三石段
川原城三石段

川原城三石段
川原城三石段

川原城三石段
川原城三石段

川原城三石段
川原城三石段

川原城三石段
川原城三石段

川原城三石段
川原城三石段

川原城三石段
川原城三石段

川原城三石段
川原城三石段

丁巳歲次三月廿四日
丁巳歲次三月廿四日

榮安

同安

新安

江蘇省城江蘇省城江蘇省城江蘇省城江蘇省城

江蘇省城江蘇省城江蘇省城江蘇省城江蘇省城

江蘇省城江蘇省城江蘇省城江蘇省城江蘇省城

江蘇省城江蘇省城江蘇省城江蘇省城江蘇省城

江蘇省城江蘇省城江蘇省城江蘇省城江蘇省城

江蘇省城江蘇省城江蘇省城江蘇省城江蘇省城

江蘇省城江蘇省城江蘇省城江蘇省城江蘇省城

江蘇省城江蘇省城江蘇省城江蘇省城江蘇省城

江蘇省城江蘇省城江蘇省城江蘇省城江蘇省城

江蘇省城江蘇省城江蘇省城江蘇省城江蘇省城

江蘇省城江蘇省城江蘇省城江蘇省城江蘇省城

江蘇省城江蘇省城江蘇省城江蘇省城江蘇省城

江蘇省城江蘇省城江蘇省城江蘇省城江蘇省城

江蘇省城江蘇省城江蘇省城江蘇省城江蘇省城

江蘇省城江蘇省城江蘇省城江蘇省城江蘇省城

江蘇省城江蘇省城江蘇省城江蘇省城江蘇省城

[illegible]

近世日本

一石之暇，清心之程，思所出，故所云。此

五言古詩一首

七

五

一
攻

一
五
五

一、
市南

右卷

善和抄

一
子

百集

第

一

女名



沈氏

1

右

醫師

醫師

醫師

醫師

一 醫師

一 醫師

一 醫師

一 醫師

一 醫師

一 醫師

一 醫師

右 醫師

醫師

醫師

醫師

醫師

醫師

醫師

醫師

醫師

醫師

割傷

一 移居ノ新居ニ至ル
一 近頃ノ主ノ人割傷ノ人ニ傷ヲ受ケ
一 其ノ人ノ口ニ血ヲ吐キ出ス

十

角

古稀之老
上之方
明之世
以之降
此之世
商之世
外之世
中
月

一 有素心振万幸四行はソリ越書
市多今古七ろと旅懐幸寺行法
の神の有り印留句と文書交りけり
はあなまを程ゆきとてまじり
照十はのちの所按
自云我れは高き分をておの
久持元印書揚人印の所按
かふ官書はひかりのゆき
一 太ふりて有るは平紙とて
ふりて

一 何れもつゝ高段連名にて中々
 へておるも 後にはおる事
 川内が所い 後にはおる事
 一 何れもつゝ高段連名にて中々
 へておるも 後にはおる事
 一 何れもつゝ高段連名にて中々
 へておるも 後にはおる事

一 何れもつゝ高段連名にて中々
 へておるも 後にはおる事

一 何れもつゝ高段連名にて中々
 へておるも 後にはおる事

一 何れもつゝ高段連名にて中々
 へておるも 後にはおる事

何れもつゝ高段連名にて中々
 へておるも 後にはおる事

[illegible]

うさぎ

仁孝之至

[illegible]

西漢書卷之六

[illegible]

宣統三年

丁巳仲夏 吳昌碩

一、
二、
三、

三

三

功中乙五
山中千石
中田長石
平中利石

平地利

一 函館の金銀取引

一 函館の金銀取引

一 函館の金銀取引

一 函館の金銀取引

一 函館の金銀取引

一 函館の金銀取引

一 函館の金銀取引

一 函館の金銀取引

一 函館の金銀取引

一 函館の金銀取引

一 函館の金銀取引

一 函館の金銀取引

一 函館の金銀取引

一 函館の金銀取引

一 函館の金銀取引

古田は

と云ふ

内山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

一、
二、
三、

王居生作
川學文用

新成氏
新成氏
新成氏

士人

太師公孫大娘

高麗

蘇軾詩集卷之四

一、竹園五の巻にありて、今、竹園五の
一、竹園五の巻にありて、今、竹園五の
一、竹園五の巻にありて、今、竹園五の
一、竹園五の巻にありて、今、竹園五の
一、竹園五の巻にありて、今、竹園五の

一、
古

一、中、外、之、國、家、之、事、業、中、外、之、事、業、

子之於我
 如天之有
 日月也

西
行
太
少
師
牙
印
函
書
送
呈

今月五日

二十次重刊

三

一、許多改革也如「實」之「實」

上平至元節之吟 竹石至元節之吟

日下草

休

한글

市者心也。子之為政。何如。

一、定為先此舉者天下當有公議

五言古詩

此乃手記之書也

一 和文と平文の別をわきま
一口をわきまをわきまをわきま

和文と平文の別をわきま

一 和文と平文の別をわきま
一口をわきまをわきまをわきま

一 和文と平文の別をわきま

和文と平文の別をわきま

和文と平文の別をわきま

和文と平文の別をわきま

一 和文と平文の別をわきま

和文と平文の別をわきま

一 和文と平文の別をわきま

和文と平文の別をわきま

和文と平文の別をわきま

一 本縣之人... 爲之...

一 具皇箱
一 有掛
一 馬
一 費目記

古語波通... 此後...

二月十八日

甲申... 達山... 宮... 山... 今... 江... 各...

一 左... 通...

御送中... 皇... 皇...

一 高... 中... 小川...

中書省奏為... 臣等伏以... 臣等謹將... 臣等謹將... 臣等謹將...

臣等謹將... 臣等謹將... 臣等謹將... 臣等謹將... 臣等謹將...

臣等謹將... 臣等謹將... 臣等謹將... 臣等謹將... 臣等謹將...

臣等謹將... 臣等謹將... 臣等謹將...

臣等謹將... 臣等謹將... 臣等謹將...

臣等謹將... 臣等謹將... 臣等謹將...

二月十八日

臣等謹將... 臣等謹將... 臣等謹將...

臣等謹將... 臣等謹將... 臣等謹將...

臣等謹將... 臣等謹將... 臣等謹將...

۷۰

六

國交を重んずる由り

油

江蘇省立第一中學

出處：皇極經世一

得。國。孔。牙。統。自。生。同。

今高田里の山を以て送る事ありしかるを以て
此處に送る事あり

印関札

三浦重三郎

関根彌太郎

村田重三郎

森村健三郎

一、吾等此處に御供養を以て信國寺に御供養を
以て市中梅を以て供養を以て市中梅を以て上
宮原の山を以て供養を以て供養を以て

一、此處に御供養を以て

御供養を以て

此處に御供養を以て

此處に御供養を以て

此處に御供養を以て

此處に御供養を以て

此處に御供養を以て

方以安書一通
 江蘇書林社文
 及公

畫作此畫時，市面統
收五元，下者五元，以
見其七人，按此，市面高
於此，此乃高

西村玄圃

但苦遠
出月
四向
大是

自來求業出經4上馬
半般馬意按正上僧
公通下
美石以
回石一代切石
日馬石年
中根松仙

[illegible]